

# 仙台市救急医療病院間連携推進事業の実施について

令和6年7月23日  
仙台市健康福祉局医療政策課

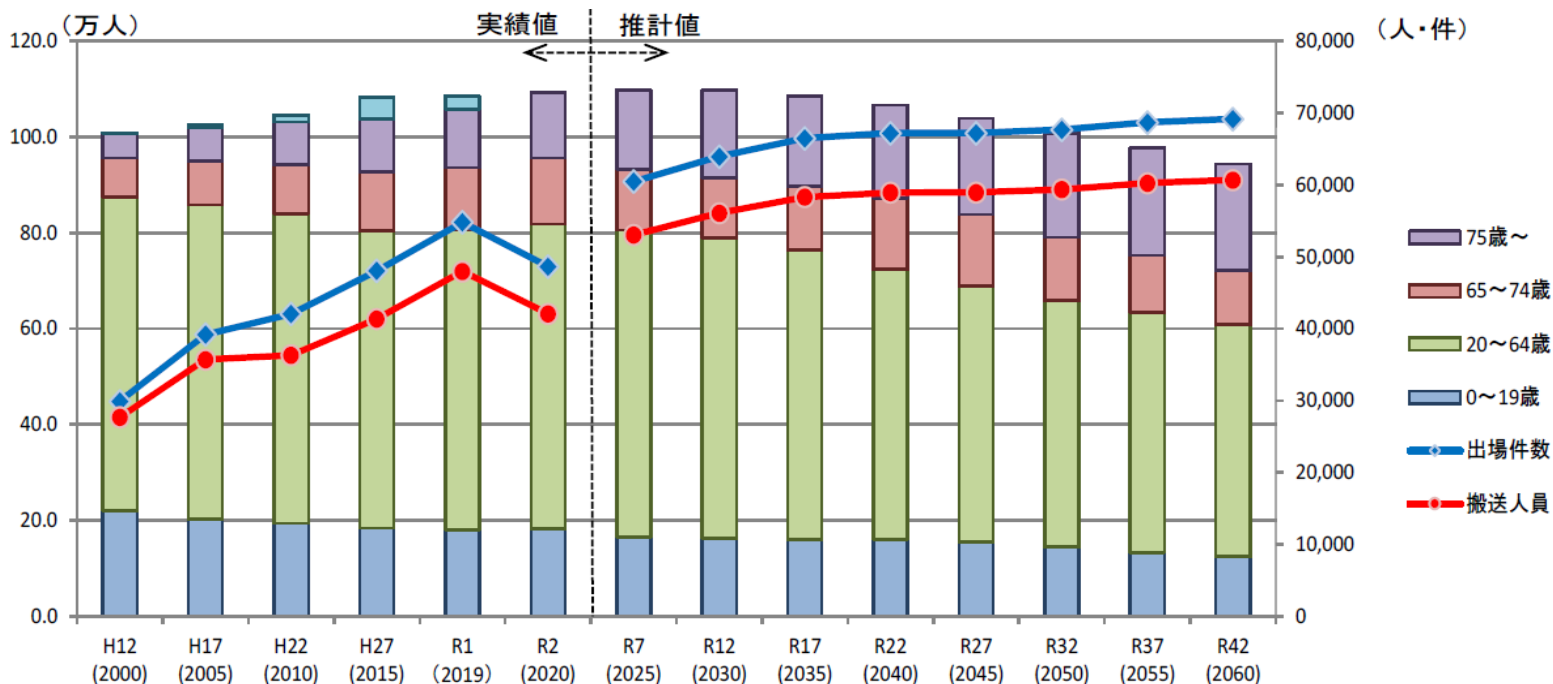
# 第1章 救急医療の課題と目指すべき方向性

## 1-1. 課題① 将来にわたる安定した救急医療の提供

- 将来的に総人口が減少局面に転じても、高齢化率の上昇に伴い、市内の救急需要は増加する見通し。
- その一方で、「医師の働き方改革」による労働時間の制限、労働人口の減少が確実。
- 将来にわたって安定した救急医療を提供できるかが課題。

### 限りある医療資源の効率的・効果的な活用が必要

仙台市の人口・救急出場件数・救急搬送人員の将来推計



※仙台市消防局「総合的消防力の整備方針2016(H28年3月(R3年3月一部改定))」より

## 1-2. 課題② 応需の改善

- 専門医がない等の状況により、特に時間外において救急患者を受け入れることが難しい
- 医師の労働時間の制限、労働人口の減少により、今後の体制確保の課題は大きくなっていく

**救急医・総合診療医の育成や、医療機関における役割分担に取り組むことが必要。**

加えて、#7119おとな救急電話相談や#8000の普及による医療機関の負担軽減を図ることも非常に重要。

### 救急患者の受け入れ（応需の課題）



## 1-3. 課題③ 出口問題の解消

- 救急搬送患者を受け入れた病院において、専門的な治療を終了した高齢者の軽・中等症の患者が退院・転院できず、新たな救急患者を受け入れる病床が確保できない状況も、応需率低下の要因のひとつ。

### 救急患者の受入を行う病院と、専門的治療を終了した患者を受け入れる病院の役割分担と連携強化が必要

#### 高齢者救急患者の特徴

症状がはっきりしないことが多い

診療が各診療科の領域にまたがる

多数の基礎疾患を有している

家族が入院を希望するケースが多く、社会的背景により退院・転院に時間がかかる

入院後にはせん妄を起こしやすい

しかし多くは、酸素、点滴、抗菌薬で対応可能であり、専門的治療を要さないことも少なくない

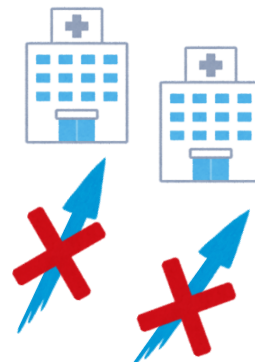


#### 救急患者の受け入れ（出口問題）



受け入れをお願いします

受け入れたいけど、ベッドがいっぱいです

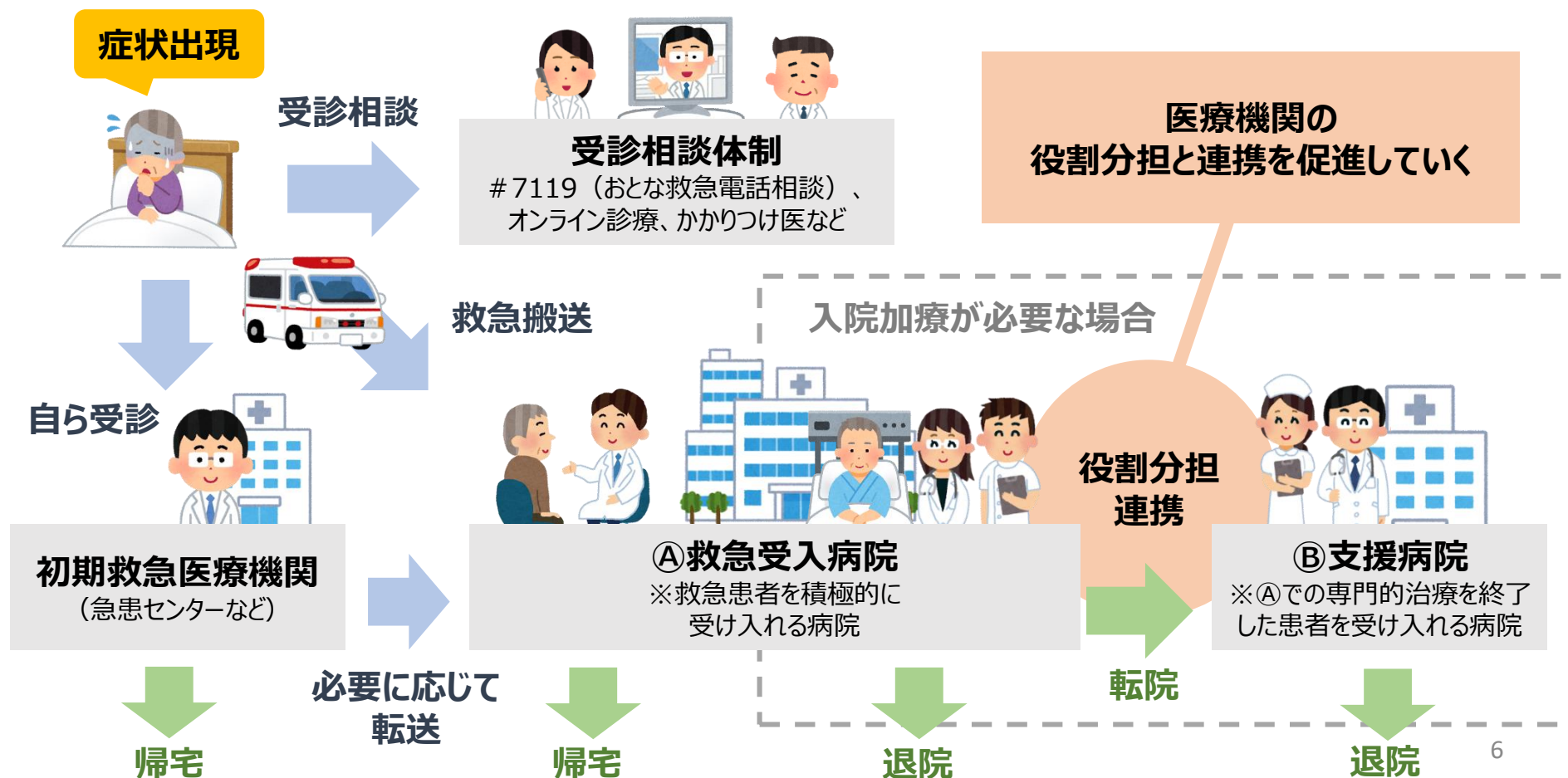


転院先が見つかりません



## 1-4. 目指す方向性

- 将来の救急需要への対応にあたっては、限られた医療資源を効率的・効果的に活用することが重要であり、円滑な救急医療の提供にあたっては、医療機能の役割分担と連携による応需の改善・転院を促進していくことが必要である。
- 地域が一体となり、持続可能な救急医療の提供体制を確保していくことが求められている。

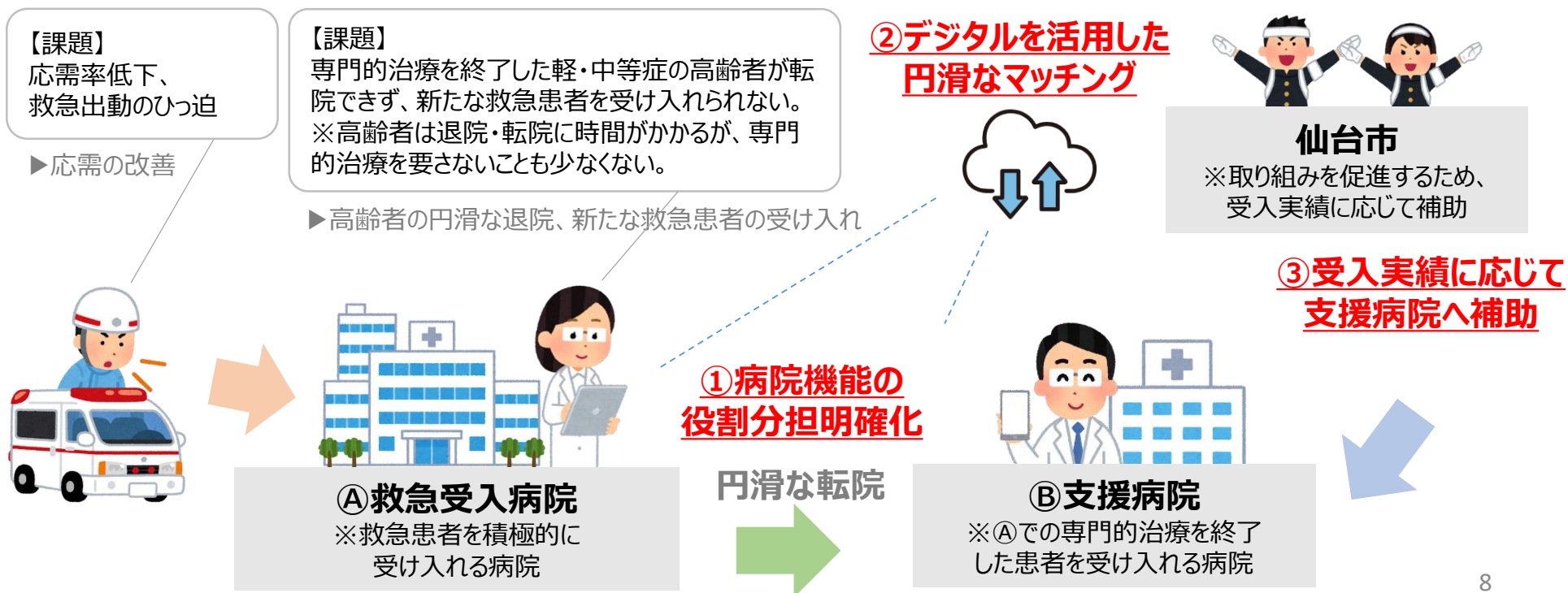


## 第2章 事業概要について

## 2-1. [全体像] 救急医療における病院機能の分化と地域連携強化について

### 取り組みの内容

- 救急搬送患者をはじめに受け入れる病院を「**救急受入病院（A病院）**」、入院治療等を受け、状態が落ち着いた患者の転院を速やかに受け入れる病院を「**支援病院（B病院）**」と定義。
- 今後増加が予想される高齢者の軽・中等症患者の円滑な転院を図るべく、**デジタルを活用した転院調整スキームの構築**と、**転院受入実績に応じた「支援病院（B病院）」への補助金交付**により、「救急受入病院（A病院）」における救急患者の受入病床の確保と、応需率の向上を図る。





## 2-2. ①病院機能の役割分担明確化

- 限りある医療資源を効率的・効果的に活用した持続可能な救急医療提供体制の確保を図るため、**医療機関の役割分担を促進**。
- 本事業においては、以下の通り **①救急受入病院** と **②支援病院** の2つの役割を設定。

### ① 救急受入病院の役割

- 救急患者を積極的に受け入れる病院
- **状態が安定した軽・中等症の高齢患者の②支援病院への積極的な転院を図る。**
- **市民に対しても公表し、ウォークイン患者も含めて受け入れていく。**



夜などは体制を整えて、うちが受け入れるので、次の日以降に落ち着いた患者さんの受入はよろしくお願いします！

### 役割分担 連携

### ② 支援病院の役割

- ①救急受入病院で状態が安定した軽・中等症高齢者を積極的に受け入れる病院  
※救急搬送受け入れを妨げない。



時間外は難しいけれど、患者さんの次の日以降の受入は頑張ります！

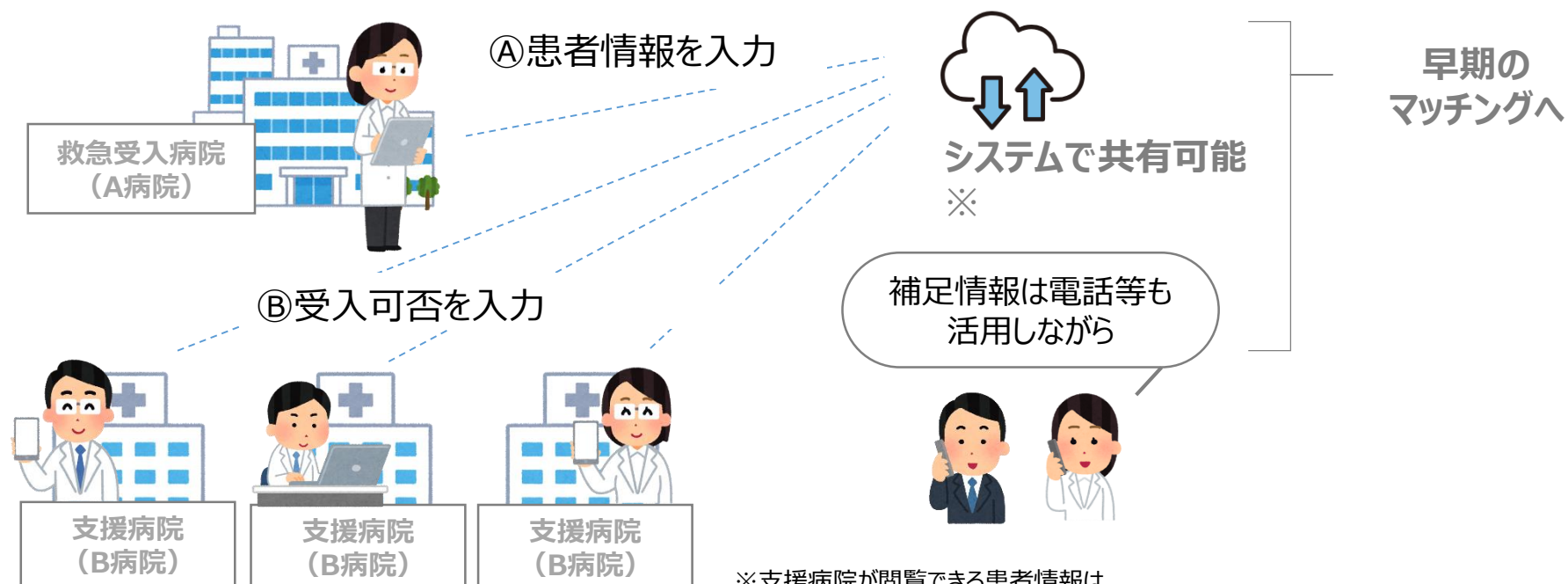
## 2-3. ②デジタルを活用した転院調整

### これまでの課題

- 転院調整には、1件1件電話やメール、FAXなどでやり取りする必要がある。
- 患者情報を入力するシートの様式がバラバラで、必要な情報の確認と記入に時間がかかる。

→ 様式の共通化と、システムでの共有により、円滑な情報共有が可能に。

### 転院調整システムの活用でできるようになること



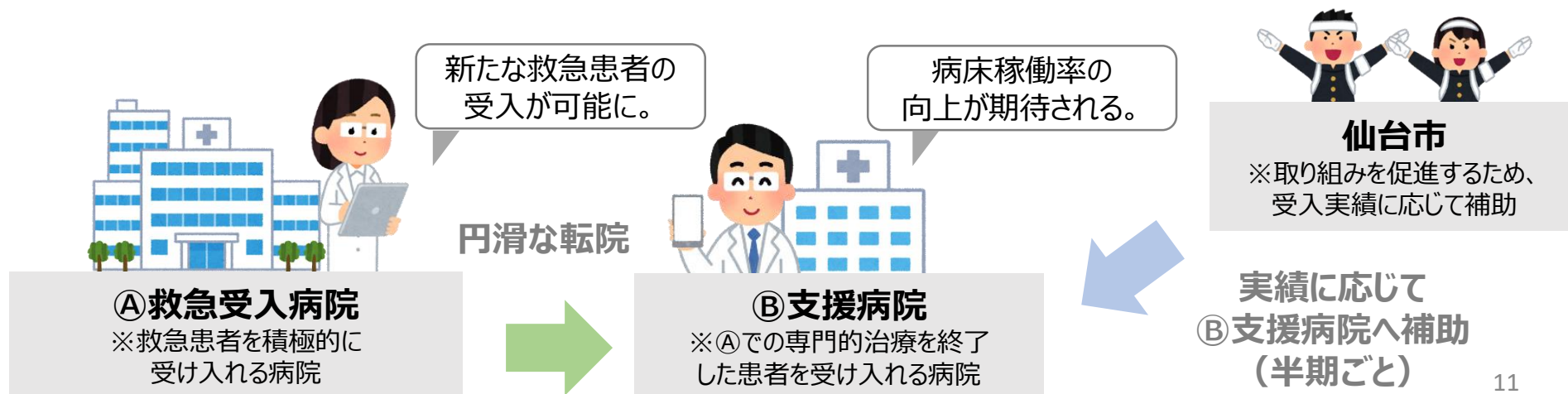
※支援病院が閲覧できる患者情報は、  
自分の医療機関あてに転院のオファーがあった患者の情報のみ

## 2-4. ③実績に応じた補助

- 医療機関の役割分担による救急医療提供体制の確保を推進するため、**③支援病院に対し、受入実績に応じた補助を実施する。**
- 病床の回転・稼働率の向上により、**医療機関の経営への貢献も期待。**

### 補助制度の概要

- 二段階の補助率を設定し、**③支援病院への補助**を行う。
  - ・ 救急受入病院での受入から5日以内の転院 **30,000円/人**
  - ・ 救急受入病院での受入から6～15日以内の転院 **10,000円/人**
- 対象患者は、**①救急受入病院が救急患者として受入れ、状態が安定した高齢の軽・中等症患者であり、③支援病院へ転院した患者**
- 補助金交付申請にあたって実績報告に添付する拳証資料（受入実績等）についても、転院調整システムから出力できるよう調整中。



## 2-5. [参考] 対象患者及び転院のルールについて

- 本事業では、「救急受入病院」が救急患者として受入れ、状態が安定した高齢の軽・中等症患者の転院受入を行った「支援病院」に対して、**受入実績に応じた補助を行います。**
- 対象患者等は**以下の要件を全て満たす患者**とします。

### 対象患者

- ① 「救急受入病院」の救急外来にて、診療を受けた患者
- ② 「救急受入病院」の**救急外来診療、または入院診療を受け**、病状が回復（上向き）、安定、不変の状態の軽・中等症患者
- ③ 「救急受入病院」で救急患者として受け入れ、診療を行い、**15日以内に「支援病院」へ転院**した患者（初診日を1日目とする）
- ④ 下記ア～コの**「重篤な状態」に該当しない患者**

ア. 意識障害又は昏睡      イ. 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性憎悪  
ウ. 急性心不全（心筋梗塞を含む）      エ. 急性薬物中毒      オ. ショック  
カ. 重篤な代謝障害（肝不全、腎不全、重症糖尿病 等）      キ. 広範囲熱傷  
ク. 大手術を必要とする状態      ケ. 救急蘇生後      コ. その他の外傷、破傷風等で重篤な状態

- ⑤ **65歳以上の患者**
- ⑥ 「救急受入病院」から「支援病院」への転院の際に、**消防局の救急車を使用しない患者**

### その他

- ✓ **転院調整は、本事業用に作成したkintoneアプリを使用**
- ✓ 「支援病院」への転院については、人員体制などを考慮し、**日中の時間帯での転院とする**
- ✓ 「救急受入病院」から「支援病院」に転院した後に、**患者の状態が悪化するなど、「支援病院」での診療が難しい場合には、再度転院元の「救急受入病院」で受け入れる**

## 2-6. 仙台市における取り組みの4つの特徴

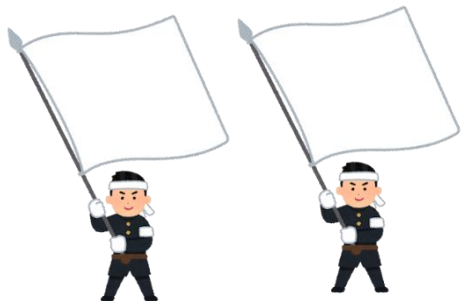
### 医療機関の役割分担

- 市内医療機関の役割分担を図り、限りある医療資源を効率的・効果的に活用した持続可能な救急医療提供体制の確保を図ります。



### 実績に応じた補助制度

- これまでの当番日数に応じた補助を見直し、支援病院（B病院）における受入実績に応じたインセンティブとすることで、さらなる事業の推進を図ります。



### アジャイル型でのシステム開発

- 初めから大規模なコストをかけた開発を行うのではなく、関係者の意見を取り入れながら、少しずつ実装と検証を重ね、シンプルで、使いやすい転院調整システムを目指します。



### 顔の見える関係づくり

- 市内医療機関の円滑な連携を促進するため、参加病院による運営連絡会を設置し、顔の見える関係づくりに取り組みます。
- 運営連絡会を活用した事業のPDCAサイクルの構築を図ります。



## 第3章 転院調整システムの概要について

## 3-1. システム開発に使用するサービスについて

- 実装と検証を繰り返し、実際に使用する各医療機関の担当者が使いやすいシステムを構築するため、プログラミングの知識がない市職員でも開発ができる「kintone（キントーン）」（提供元：サイボウズ株式会社）を活用。

### kintoneとは（ホームページより）

- 業務のシステム化や効率化を実現するアプリが「シュシュッと」つくれるノーコードツール
- キントーンはプログラミングの知識がなくてもノーコードで、業務のシステム化や効率化を実現するアプリがつくれるクラウドサービスです。
- 表計算ソフトよりも快適に、専門システムより柔軟に、自社でシステム開発をするよりスピーディー & 低コストに、思いついた業務改善をすぐに実行できるのが特長です。

■ カタログはこちら ■ <https://kintone.cybozu.co.jp/material/pdf/kintone.pdf>



## 3-2. 本事業で使用する2つのアプリ（予定）

- 本事業では、その目的に応じて、以下の2つのアプリを使用する予定。
- 以下の2つのアプリをまとめて、**転院調整システム**と呼ぶことにする。

アプリの名称	使う人	できること
<b>病床アプリ</b> 	救急受入病院 (A病院)	• 支援病院（B病院）の受入可否を確認できる。
	支援病院 (B病院)	• 日々の受入可否を登録できる。
<b>転院オファーアプリ</b> 	救急受入病院 (A病院)	• 転院をオファーしたい患者情報の登録し、任意の支援病院（B病院）にオファーできる。  ※複数の医療機関への同時オファーも可能。
	支援病院 (B病院)	• 救急受入病院（A病院）からオファーのあった患者情報を確認し、受入可否を回答できる。



### 3-3. 病床アプリ [画面イメージ]

- 支援病院が、日々、受入可否を更新する（「○」または「×」で表示）。
- 入力項目は、「内科系-男性部屋」、「内科系-女性部屋」、「外科系-男性部屋」、「外科系-女性部屋」の4項目。
- その他の情報は備考欄を用いて共有（例：内科系-男性病室は個室なら受入可）。

レコード番号	医療機関名	更新日時	内科系-男	内科系-女	外科系-男	外科系-女	備考欄（自由記述）	担当連絡先
2	ひまわりホスピタル	2024-07-19 14:10	×	×	○	×	内科系-男性病室について、個室なら受入可。	地域連携室 佐藤 022-XXX-XXXX
1	サクラ総合病院	2024-07-19 14:09	○	○	-	-	7/24以降なら受入可。	救急科 転院調整看護師 山田 022-XXX-XXXX

医療機関名      更新日時      受入可否状況      備考欄      担当連絡先

### 3-4. 転院オファーアプリ [画面イメージ]

- 救急受入病院が、①患者情報の入力と、②転院をオファー（相談）したい支援病院の選択を行い、情報を登録。
- 支援病院は、受入可否をシステムで回答する。

ステータス	氏名	フリガナ	性別	年齢	住所（市区町村まで）	主病名	主な併存病名	入院日
支援病院確認待ち	仙台 一郎	センダ...	男性	80 歳	仙台市青葉区	大腿骨頸部骨折	糖尿病	2024-06-22
支援病院確認待ち	仙台 一郎	センダ...	男性	80 歳	仙台市青葉区	大腿骨頸部骨折	糖尿病	2024-06-22

現在の調整状況

患者氏名

性別・年齢・住所

主病名・主な併存病名

入院日

一覧に表示された項目以外の詳細情報は、こちらをクリックして確認（次ページへ）

## 3-5. 転院オファーアプリ [詳細情報①/3]

- 入力する患者情報は、下記の通り予定している。 **[太字下線：必須項目]**

### 1. 患者基礎情報

- ① **患者氏名、生年月日、年齢、性別、住所**
- ② **入院日**
- ③ **主病名、主な併存病名**
- ④ **転院先の希望エリア**
- ⑤ 感染症（HBS、HCV、梅毒、結核、MRSA、その他）
- ⑥ キーパーソン（あり（続柄・関係・同居の有無）、なし）
- ⑦ 家族の介護力（あり、なし）

### 2. ADL状況

- ① **全体概況（自立、一部介助、全介助）**
- ② 意思疎通（自立、一部介助、全介助）
- ③ 移動（自立、一部介助、全介助）
- ④ 食事（自立、一部介助、全介助）
- ⑤ 清潔（自立、一部介助、全介助）
- ⑥ 排泄（自立、一部介助、全介助）

## 3-6. 転院オフアプリ [詳細情報②/3]

- 入力する患者情報は、下記の通り予定している。 **[太字下線：必須項目]**

### 3. 特記すべき症状・障害の状況等

#### ① 認知機能障害

- ・ 程度（軽度、中等度、重度）
- ・ 認知症の診断（あり、なし）
- ・ せん妄発症既往（あり、なし）

#### ② 運動機能障害

- ・ 筋力低下 部位（ ）、程度（軽度・脱力、中等度、重度）
- ・ 麻痺 部位（ ）、程度（軽度・脱力、中等度、重度）
- ・ 移動時補助具使用（車椅子、歩行器、杖）

#### ③ 嚥下機能障害

- ・ 窒息リスク（軽度、中等度、重度）
- ・ 食事形態（ ）

#### ④ 排泄機能障害

- ・ 膀胱留置カテーテル（あり、なし）
- ・ 人工肛門 ストマ管理（自立、一部介助、全介助）
- ・ その他（ウロストミー等）
- ・ その他の機能障害及び上記の補足

### 3-7. 転院オフアアプリ [詳細情報③/3]

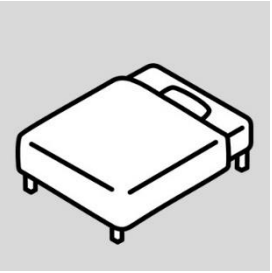



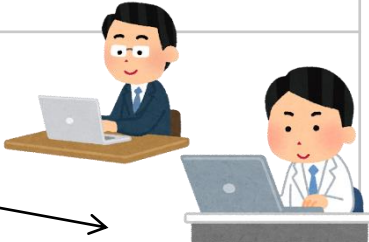


- 入力する患者情報は、下記の通り予定している。 **[太字下線：必須項目]**

#### 4. 医療的処理

- ① **酸素投与**      **あり（投与量      ℓ /分）、なし**
- ② 吸引頻度      あり（時々、頻回）、なし
- ③ **点滴**              **あり（IVH（中心静脈栄養））、なし**
- ④ 服薬管理              （自立、一部介助、全介助）
- ⑤ 生体モニター種類      あり（心電図、酸素飽和度、その他）、なし
- ⑥ **経管栄養種類**      **あり（経管カテーテル、胃ろう）、なし**
- ⑦ 褥瘡処置
  - ① 部位（仙骨部、踵部、腸骨部、その他）
  - ② エアマット使用（あり、なし）
- ⑧ その他の処置

#### 5. 社会的背景における特記事項

### 3-8. 転院調整システム利用の流れ

使うとき	使うアプリ	救急受入病院（A病院）	支援病院（B病院）
毎日	病床アプリ 		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の受入可能病床数を更新</li> </ul>  <p>今日は内科系で受入可能です</p>
転院の オファーを するとき	転院オファーアプリ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>転院をオファーしたい患者発生</li> <li>患者情報を登録し、任意の支援病院（B病院）にオファー</li> </ul> <p>※複数の病院に同時オファー可</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>患者情報を確認し、受入可否を回答</li> </ul> <p>（電話等も活用しながら転院日を調整）</p> 
患者さんが 転院した後		<ul style="list-style-type: none"> <li>転院予定日を入力</li> <li>転院完了日を入力し、システムへの入力完了。</li> </ul>	

## 3-9. kintoneのアカウント利用料について

- kintoneの利用にあたり、利用するユーザー数に応じて、利用料負担が必要。
- モデル事業実施期間内においては、1病院1～2アカウントとし、利用料を仙台市が負担。
- モデル事業が終了し、本格実施へ移行する際には、各病院において、必要ユーザー数に応じた利用料を仙台市あてに納入いただくことを予定（契約は本市が一括して実施）。

### kintone 利用料／1ユーザー

- ◆ 月額 **1,800円**（税別）※1
- ◆ セキュアアクセス※ **250円**（税別）※2

月額 **2,255円**（税込・予定） + 諸費用

- ※1 上記は秋からの改訂価格（改定前：1,500円）
- ※2 クライアント証明書をインストールした端末だけにアクセスを制限する仕組みでセキュリティを強化するもの（Windows、Mac、iOS、androidに対応）

### アクセス環境

- ◆ Webブラウザ（GoogleChrome、MicrosoftEdge、Safari等）や、スマートフォン用アプリからアクセスいただけます。



### ユーザー数の考え方

- ◆ 地域連携室の[ア]相談員が1人で使用する場合



1ユーザー

- ◆ 地域連携室の[ア]相談員と、[イ]相談員が2人で使用する場合



2ユーザー

## 第4章 その他



## 4-1. モデル事業実施に係るスケジュールについて（予定）

日程	参加病院の手続き	仙台市の手続き
7月23日（火） ～ <u>8月9日（金）</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>事業への参加申し込み</u></li> <li>● システム利用者情報の提出</li> </ul>	
8月中旬	● 参加病院の決定・協定締結	
		● システム利用に係るアカウント発行作業
8月27日（火） ※予定		● アカウント情報及び操作マニュアルを病院へ送付
8月28日（水） ～ 8月30日（金）	● アカウントログイン試行等	
令和6年9月 2日（月） ～ 令和7年3月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モデル事業の実施 (11月予定)</li> <li>● 参加病院による第1回運営連絡会の開催</li> </ul>	

## 4-2. 本日の資料及び本事業に関する問い合わせ先など

### (1) 本日の資料

- 7月23日（火）午前10時頃に以下の仙台市ホームページに掲載します。
- 本事業の参加にあたって必要な以下の書類等についても、こちらよりダウンロードをお願いします。
  - ・ 様式1号 参加申込書
  - ・ 別紙1 参加病院 システム利用者情報 提出様式



<https://www.city.sendai.jp/iryosesaku//kyukyuiryo/byoinkanrenkei.html>

### (2) 本件に関するお問い合わせ先

- お問い合わせにつきましては、以下電子フォーム（みやぎ電子申請サービスへ遷移します）より入力をお願いいたします。
- お寄せいただいた質問と回答は、各病院へ共有を図るため、質問者名（病院名含む）を伏せたうえで、以下のスケジュールにて、（1）のホームページにて公開します。（個別の事案に関するものについては、お電話またはメールにて質問者様に直接回答します。）



7/26（金）正午までにお寄せいただいた質問	→	7/30（火）を目途に回答
8/1（木）正午までにお寄せいただいた質問	→	8/5（月）を目途に回答

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1721383684368>

- 軽易な事項で、お急ぎの場合などについては、以下までお問い合わせください。

仙台市健康福祉局保健衛生部医療政策課

電話：022-214-8196（受付時間 9時～17時）

E-mail：[fuk005522@city.sendai.jp](mailto:fuk005522@city.sendai.jp)